

第7回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会 会議録

1. 日時 平成 25 年 11 月 28 日（木）午後 3 時 00 分から午後 4 時 20 分まで
2. 会場 門真市役所 本館 2 階 大会議室
3. 出席者（委員） 今西委員長、桂副委員長、宮本委員、石原委員、山田委員、清澤委員、岡本委員
- 事務局 柴田生涯学習部長、山田生涯学習部次長、脊戸地域教育文化課長、西山課長補佐、清水主任、藤田主査
- コンサルタント 株式会社ユーエヌ土地利用研究所 中佐、中川
- 傍聴者 0 名
4. 議題 案件 1 …門真市生涯学習推進基本計画（素案）について

事務局 それでは定刻となりましたので、第7回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会を開会します。はじめに、お手元の資料の確認をお願いします。

まず、議事次第です。

次に、資料1「門真市生涯学習推進基本計画（素案）」です。

次に、資料2「地域通貨「蓮」に関して理事長東田さん、通学合宿に関して会長奥田さんのコラム」です。

次に、資料3「門真市生涯学習フォーラムちらし(案)」です。

次に、資料4「門真市生涯学習フォーラムちらし文字原稿」です。

次に、資料5「門真市生涯学習基本計画 策定までのスケジュールについて」です。

最後に資料番号はございませんが、追加資料としまして「第1章 計画の策定にあたって」です。お手元に無い資料がございましたら、お伝えいただきますようお願いいたします。それでは、以降の議事運営を今西委員長にお願いしたいと存じます。今西委員長よろしくようお願いいたします。

今西委員長 では、案件1「門真市生涯学習推進基本計画（素案）」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、案件1「門真市生涯学習推進基本計画（素案）」について説明いたします。素案としては、おおむね形が整ってきたと思います。検討委員会、関係各課のご意見もお伺いいたしまして、全体としてほぼ完成した形になっており、策定委員会の皆さまのご意見をいただきたく存じます。

内容としまして、市民の方にも身近に読んでいただくために、門真市の事例をたくさん入れて分かりやすくし、要所に挿絵を入れさせていただきました。別紙で配布させていただいておりますが、策定委員以外の方々にもコラムをご提供いただき入れさせていただいてます。

それでは内容についてご説明させていただきます。

概要については、全体の構成については前回と同様、6章から構成しており最後に補章を入れさせていただいております。

P. 1で、生涯学習の定義をあげておりますが、取り違えていた点もあり、本日別紙で再度定義についてお配りさせていただき、この文に差し替えさせていただきます。P. 10の「第4章 基本理念」では、基本理念「みんなでつくろう！おもしろいまち・おもしろいまち門真！」と「まち」という言葉を入れ、「おもしろい」「おもしろい」どちらに掛かっているのかを分かりやすくしております。次のP. 11「4-2 基本目標」については、前回と変わっておりません。個人が生涯学習をし、生涯学習活動をやって、まなびあう仲間をつくり、市民みんながつながり、それをまちづくりにつなげていく流れとして、四つの目標で構成しております。P. 12「4-3 計画の柱」については、柱は六つございしますが、基本的に内容、柱の設定、柱の数について変わっておりません。P. 13「第5章 基本計画」は、それぞれについては基本的に前回と同じですが、もう少し、現況と課題、施策展開の方向の部分を実質し、個別施策につながるよう説明文を入れております。P. 13、P. 14「5-1 まなびの情報提供」は、現況と課題をあげさせていただき、施策展開で3つの方向をあげ、P. 15以降は事例と個別施策をあげております。P. 18、P. 19「5-2 まなびの機会づくり」も同様の構成で、まなびのソフト面について、P. 26、P. 27「5-3 まなびの場づくり」では、まなびのハード面についてあげております。P. 31、P. 33「5-4 まなびのネットワークづくり」は、組織・団体間、組織間、地域・広域間でのネットワークをあげております。P. 37、P. 38「5-5 まなびの人材づくり」は、大きく二つ、ボランティアの発掘・リーダーの育成と支援する人材の育成を入れております。P. 43、P. 44「子どもを育む取り組みの推進」は、家庭教育への取り組み、地域での取り組み、次の時代を担う青少年の健全育成について三つあげております。

以上が施策の全体ですが、体系としてはP. 50にまとめさせていただきました。

P. 51「第6章 計画の実現に向けて」は、「〈1〉積極的な「生涯学習」の周知」「〈2〉生涯学習施設の充実」「〈3〉公益的な生涯学習活動に対する財政的支援の拡充」「〈4〉生涯学習推進のための体制づくり」「〈5〉協働による基本目標の達成をめざして」の五つをあげております。あと「補章」、最後に「資料」をつけており、「はじめに」は市長のお言葉を、「あとがき」の部分では委員長と副委員長のお言葉をいただきたいと考えております。別紙のコラムですが、委員の先生以外の方々からもコラムをいただき、記載しようと考えております。以上です。

今西委員長

案件1「門真市生涯学習推進基本計画（素案）について」をご説明いただきました。ご質問やご意見ございませんか。

一番大きな部分で気がついたのは、前回先生方々の間で「おもしろい」という言葉について議論がありましたが、今回ご説明のあった「おもしろいまち・おもしろ

いまち」という案がございましたがいかがでしょうか。

宮本委員 ご提案がありましたように「おもしろいまち」と「まち」が入ったことによって、とても良くなったと思います。

桂副委員長 「おもしろいまち・おもしろいまち門真」は、すごく生き生きとした共同体、みんなで頑張ろうというイメージを受け、広がる感じがして非常に良いと思います。

宮本委員 P. 2「②新たな知識・技術を修得するために」とありますが、技術というよりも技能の方が良いと感じ、提案したいと思います。

今西委員長 一行目に「情報化、国際化、科学技術」と、技術という言葉が出ていますので、二行目後の言葉は技能でも良いかもしれません。

一つ教えていただきたいことがあります。P. 10「4－1 基本理念」の4行目、「自ら生成し発展する『自律発展都市』という言葉が以前から難しく感じていました。しかし、総合計画から言葉を引用し一般化されているのであればそのままにしておくが良いと思います。4行目までは2008年（平成20年）の中央教育審議会答申の言葉を使われ、格調高い言葉だと思いますので、表現はくずさない方が良いでしょう。

P. 18の絵ですが、右から二人目の女性がエプロンをしています、典型的な性別の役割分担というイメージを連想させることから、変更していただきたいです。

石原委員 P. 52「（4）まず、市内の名所・旧跡を歩いて訪れよう！」の挿絵ですが、門真の神社など門真に関連するイメージに合うようなものを入れてはいかがでしょうか。門真の歴史のひとつとして蓮根があるのですが、昔から蓮根が自生していた地域なのに、全然、蓮根に関する事が記述されていません。

事務局 以前、門真市の広報で農業体験の記事をみて、載せようと思ったことはありました。
（ユーエヌ）

事務局 以前、国際交流協会が、蓮根掘り体験の事業をされたことがあり、広報にも掲載されました。広報の写真を探してみたいと思います。

桂副委員長 P. 35「②民間施設とのネットワークづくり」で「相互の連携とネットワークの構築」と記述されていますが、どのようなイメージを持たれて記述されたのですか。市の施設に限らず、なみはやドームなど指定管理者制度を導入している府の

施設をより市民が利用できるようにするという事でしょうか。

事務局 (ユ－エヌ) 公共、民間施設の情報を共有したり、利用のレベルに応じて互いに連携していくイメージなのですが、連携していく具体的な内容については、次の施策の段階になると思います。

今西委員長 将来の目標をもう少しきちんと記述するべきかもしれません。

桂副委員長 みんなでイメージを統一し、読んだだけで市民がわかるようなものにしなければいけないと思います。

事務局 なみはやドームも今はプールの利用補助ですが、民間の施設も含め、連携を強化していかなければならないと考えています。この部分についてももう少し検討したいと思います。

清澤委員 基本計画という観点からはこの内容で良いと思いますが、次の段階の計画を考えた時に、第6章の内容が薄く感じます。実現に向けてどのような事があるのかもう少し具体的なことが記述されているとわかりやすいと思います。

今西委員長 P. 51 の第6章ですが、内容は簡単に記述されていますが、お話をうかがってみると、いろいろと考えていらっしゃるので問題はないと思います。

清澤委員 実施計画の段階になると思いますが、他市の事例などを入れて実現に向けてどのようにしていくのか、お話にあった地域連携の事など、もう少し具体性があれば良いと思います。

石原委員 P. 38「ボランティアなどの活躍の場を拡げていく人材や、生涯学習活動の支援者と学習者を結び付ける人材の育成について、その方策を検討します。」とありますが、役所の方がそういう役割をするのではなく、違う場所にいらっしゃるコンサルタントのような方々がするというのでしょうか。

事務局 (ユ－エヌ) ボランティアのスキルを上げるような研修、講習をしていただく人、指導者としての人材育成で、タイトルとは合わないかもしれませんが、この中には児童や生徒など、子ども達にもボランティアしていただきたいと考えております。

受ける人と受けたい人とをマッチングさせるという面でも、ボランティアを考えておりまして、行政もあるのかもしれませんが、民間の中でいっちゃったら良いと考えております。

今西委員長 本当は違います。今おっしゃられていることは、ボランティアコーディネーション、ボランティアコーディネーターとあって、位置付けとしては行政側に立つ人がするものです。行政職員に限っておらず、嘱託や様々な形があります。たとえば、フランスにおけるアニマシオンは社会教育施設やスポーツのコーディネートをする人で、行政側に雇われています。イギリスではラーニングブローカー、アメリカではラーニングガイドという人もいます。日本ではラーニングカウンセラーという意味だと私は思っておりますが、記述されている文章はこのことを言われているのだと思います。

桂副委員長 行政が核になる部分はあると思いますが、全部が行政側でなく、行政はつなぎ役として存在し、コーディネーターやボランティアなどには市民がどんどん入っていき、市民のリーダーをつくっていくというイメージを持ちました。

今西委員長 一般的には市民活動支援のボランティアコーディネーターを行うセンターを設立し、運営を NPO に委託しています。大阪狭山市ですと、NPO にボランティアセンターを委託しています。

岡本委員 今回、私にもわかりやすく、読みやすくなっていると思います。先ほどお話にあった蓮根の話ですが、現在門真では少なくなっておりますが、北島地区では盛んで、良かったら取材されても良いと思います。

山田委員 将来考えている指導者育成として、スポーツディレクターを入れていただき、良いと思います。

桂副委員長 図が入ったりして、とても読みやすくなったと思います。先ほど清澤委員がおっしゃった最後の部分、今ある組織をどうやって動かしていくのかなど、これからのことを考えるとわくわくしてきます。

清澤委員 基本計画が 35 年までになると、市民からは、次の年にはどのような事をするのかと関心を持たれると思います。基本計画としてはこれで良いと思いますが、概要についてはトータルの生涯学習推進基本計画の中でどのような成果を出していくのか、体制について少し記述されても良いのではないかと思います。

事務局 短期的、中期的、長期的にどういうところまでできるかを考えるよりも、生涯学習は市民の方ご自身が学ばれることであるので、我々にできる事について環境整備、機会づくり、支援を中心に考えておりました。

桂副委員長 今のご意見を可能な限り、入れていただきたいと思います。

清澤委員 生産年齢が65歳までとして、そこからの人口がこれから増えてきます。65歳以上の人々がいかに自分の人生を充実させ、生涯学習を通じて、健康で人と楽しく生きていけるかという部分に大きなウエイトがかかってきます。歳を重ねても地域の人たちとつながっていけたら、楽しい夢のある生活ができることを他の推進計画を含めながら考えると、これから先が楽しくなると思います。他の施策を取り入れていく事も良いのではないのでしょうか。

今西委員長 社会教育で一番関心があるものとして、過半数を超えていたのが健康についてでした。関心の高い健康とうまくつなげて広がっていければ良いと思います。

桂副委員長 高齢者が生き生きとし、まなび、つながっていく事は大事です。でもそれは元気で健康であるからこそできるのであって、自分でできない、動けなければ何の意味ありません。門真市では現状どうなのか、どのような仕掛けをし、5年先にはどうなっているのかというイメージ持たれたら良いと思います。夢の話ではなく現実にも可能だと思うので、あとは市民が現状を知り、入りやすくする事が大事だと思います。

事務局
(ユーエヌ) 門真市で今行っている事例をできるだけ並べながら、親近感をもっていただき日常的な部分から入って、親しんでいただく事をスタートにしてもらおうと考えています。

今西委員長 他にご意見ございませんか。なければ今後のスケジュールについて、事務局からご説明していただきたいと思います。

事務局 今後のスケジュールについてご説明させていただきます。まだ追加の内容や文言の修正などを来週いっぱい行い、その後、パブリックコメントに付したいと考えております。まず、計画案を市民の皆さんに見ていただいて、ご意見をいただき、ご意見を受けて本計画で修正すべき点があれば、次回の策定委員会で議論し、変えていきたいと考えております。計画の審議につきましては、2月20日の策定委員会をもって最後とし、教育委員会の議決を経て、本市の計画として策定されるのが来年3月の予定です。印刷の都合等考えますと、4月頃に配布できる見込みとなっております。

また、生涯学習フォーラムの開催も予定しており、この件に関しては脊戸より説明いたします。

事務局 資料3をご覧ください。生涯学習フォーラムを1月17日に開催いたします。まだ案ではありますが、内容について掲載しております。パネリストのうち、山口

洋典さんについては、まだご返事をいただいておりますが、その他の方については、全員了解いただいております。内容については、オープニングにアカペラを大学生の方にしていただき、パネリストが4人、コーディネーターとして私、今西先生にはコメントをいただく形で考えております。

事務局
(ユーエヌ)

チラシをつくり、いろんな施設等に配りたいと考えております。

事務局

いろいろな団体にごあいさつも兼ねて配りながら、一人でも多くの方に来ていただきたいと考えております。以上です。

事務局

生涯学習推進基本計画としてコメンテーターを今西委員長にさせていただく事は以前からお話させていただきましたが、今回、石原委員にもパネリストとして事務局からお願いさせていただきました。図書館というジャンルからお話ししていただけることと、他の方が男性ばかりなので女性の方にもという事でお声を掛けさせていただきました。石原委員におかれましては快くご了解していただき、ありがとうございました。

今西委員長

お話があったとおり、パブリックコメントでご意見いただくのと、あとワーキンググループ、庁内の検討委員会でもご意見をいただき、その事をふまえ、2月20日の策定委員会で最終的な議論をしたいと思います。その時に印刷される冊子、見本の原案を示してください。先生方のご意見を入れ、最後の締めにしたいと思います。あと、何かご意見はございませんか。期間はございますので、何かありましたら事務局まで連絡をお願いいたします。

事務局

もう少しデザインを考え、見やすくしようと考えております。おおむね今の状態に補充していく事になると思います。

清澤委員

デザインの話になりますが、挿絵が多く逆効果になっています。挿絵はあくまでも添え物であるので、配置の仕方を再度考え直した方が良いと思います。

今西委員長

今、清澤委員からのご意見を踏まえて再度検討して下さい。あと、特に申し上げることはございませんか。よろしいでしょうか。それでは、以上で第7回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。